

# 株主通信

— 2014年 —

「世界最大のインターネットグループ」へ、  
ソフトバンクの挑戦は続きます。

 SoftBank

ソフトバンク株式会社 証券コード:9984



## 株主通信 2014年 目次



2 2014年度上期の事業概況

4 Q&A

6 特集1 | スプリントは新体制で反転攻勢へ  
マルセロ・クラウレ氏を新CEOに迎え入れ、  
さまざまな経営改革を強力に推進

8 特集2 | インドにおける戦略的投資  
スナップディールとオラへの投資を通じて  
成長が期待されるインド市場に参入

9 TOPIC | ホークス3年ぶりの日本一に！

10 特集3 | ロボット事業に参入  
世界初の感情認識パーソナルロボット  
「Pepper」を2015年に一般発売

12 連結業績ハイライト

14 セグメント別営業概況

16 株主アンケート 結果ご報告

17 会社概要



## 株主の皆さまへ

当社の2014年度上期(4月～9月)における連結業績は、国内の移動通信事業が順調に推移したことに加え、前年度に買収したスプリントやスーパーセル、ブライトスターの業績が反映されたことや、関連会社のアリババの上場などにより、売上・純利益ともに過去最高となりました。

また当社は、今後中国と並び世界の二大経済圏のひとつとなるであろうインドへ積極的な投資を行いました。

引き続き、事業と投資の両輪により企業価値の最大化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ソフトバンク株式会社  
代表取締役社長

孫正義



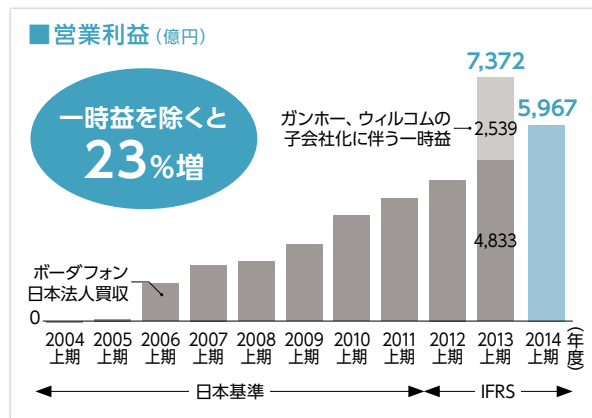
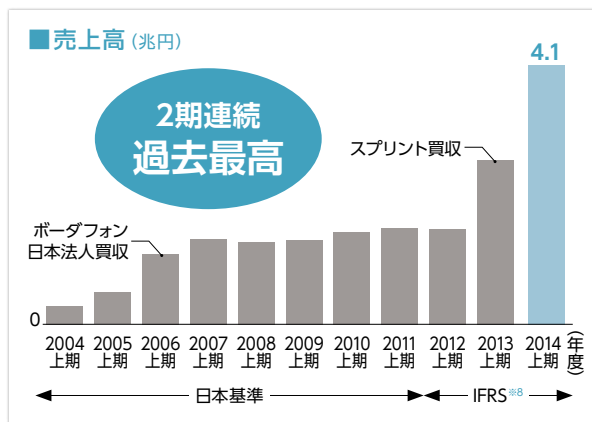
# 2014年度上期の事業概況

**当** 社の2014年度  
上期(4月～9  
月)の売上高は、2期  
連続過去最高となり

ました。2013年7月に買収したスプリント※1の業績が全期間反映されたことに加え、2013年度下期に買収したスーパーセル※2とブライトスター※3の売上が計上されたほか、ソフトバンクモバイルも増収となりました。

**営** 業利益は減益となったものの、純利益※4は大きく増加しました。前年同期の営業利益には、子会社化したガンホー※5とウィルコム※6の株式を公正価値で再測定した一時益が含まれていました。この一時益を前年同期の営業利益から除いた金額と当期の営業利益を比較すると、当期が1,134億円上回っています。純利益の増加は、アリババ※7上場などに伴い持分変動利益5,993億円を計上したことによるものです。

## 「売上高は4兆円を突破し、上期において過去最高を更新。純利益は37%増加」



※1 Sprint Corporation ※2 Supercell Oy ※3 Brightstar Corp. ※4 親会社の所有者に帰属する純利益。 ※5 ガンホー・オンライン・エンターテイメント。  
※6 ウィルコムは2014年6月1日にイー・アクセス(現ワイモバイル)に吸収合併されました。 ※7 Alibaba Group Holding Limited ※8 国際会計基準。

**当** 社は、世界中でインターネットおよびモバイル分野を中心に「戦略的シナジーグループ」をグローバル規模で形成しています。戦略的グループ会社の構成は、インフラをはじめとするプラットフォームからサービス・コンテンツまで多彩であり、これらの企業間のシナジー創出を通じて、グループ全体の拡大を図っています。この戦略の一環として当社は、中国に次ぐ成長が期待できるインドに注目し、インド最大級のイーコマースサイトを運営するスナップディール<sup>※9</sup>や、インドNo.1の配車サービスプラットフォームを提供するANI Technologies Pvt. Ltd. (通称<sup>オラ</sup>OLA) などに投資しました。世界第3位のインターネット人口を持つインドのイーコマース市場はまだ発展途上であり、今後の成長が期待されています。

## 「今後大きな成長が期待できる市場としてインドに注目」

**当** 社の2014年度通期の業績は、売上高8兆円、EBITDA（償却前利益）約2兆円、営業利益9,000億円（一時益を除く）を予想しています。従来の業績予想から営業利益を1,000億円下方修正しましたが、これはスプリント事業の見通しを下方修正したことに伴うものです。

### ■ 2014年度業績予想

□ 売上高	8兆円
□ EBITDA	約2兆円
□ 営業利益	9,000億円（一時益を除く）

**中** 間配当は、9月末時点の株主に対して1株当たり20円とし、期末配当の1株当たり20円と合わせ、年間配当は1株当たり40円となる予定です。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※9 Snapdeal

Q

&amp;

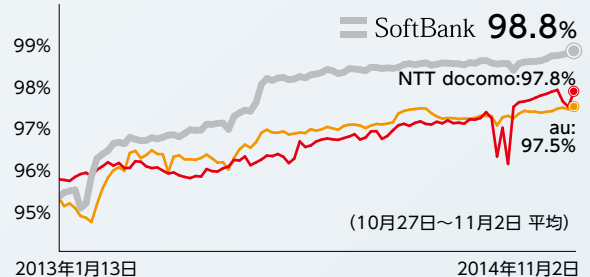
A

株主の皆さまからのご質問にお答えします。

## Q 国内携帯市場の状況は？

A 国内携帯市場では、同じ携帯端末が他社でも取り扱われることも多く、端末での差別化が難しい状況となっています。この状況下でソフトバンクは、ネットワークのつながりやすさや速さにこだわり、他社と差別化を図っています。第三者調査機関の調査では、つながりやすさ、速さともに他社を上回っています。

スマホのポケット接続率(全国・週間平均)




※ 統計分析処理:株式会社Agoop 「防災速報」アプリ(ヤフー)と「ラーメンチェッカー」「電波つながりチェッカー」アプリ(Agoop)を利用の各社スマートフォン計約120,000台のデータを個別に分析。

## Q ゲーム事業の状況は？

A 昨年度に子会社化したスーパーセル、ガンホーとともに引き続き好調に推移しています。2014年9月の売上世界ランキング<sup>クラッシュ オブ クランズ</sup>※1において、スーパーセルの「Clash of Clans」が1位、ガンホーの「パズル&ドラゴンズ」が2位を獲得しました。さらにスーパーセルの「Hay Day」<sup>ヘイ デイ</sup>と「Boom Beach」<sup>ブーム ビーチ</sup>もそれぞれ6位と9位にランクインしました。

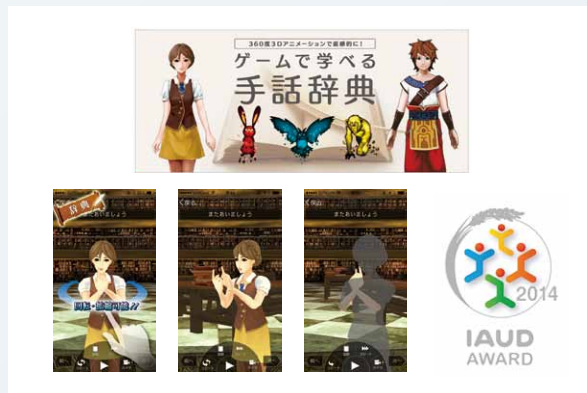
売上世界ランキング-ゲーム(2014年9月)

ランキング	ゲーム名	会社名
1位	 Clash of Clans	スーパーセル
2位	 パズル&ドラゴンズ	ガンホー
3位	Candy Crush Saga	テンセント/キング
:		
6位	 Hay Day	スーパーセル
9位	 Boom Beach	スーパーセル

※1 App Annie調べ。iOS & Google Playの合計-ゲーム-ワールドワイド

## Q | 最近の社会貢献活動は？

A | ソフトバンクでは、「聴覚障がい者と聴者の隔たりのない、優しい社会を構築したい」との思いから手話学習アプリ「ゲームで学べる手話辞典」※2を開発しました。このアプリは、実際の手話の動きを取り込んだ360度回転可能な3Dアニメーションを搭載しており、さまざまな角度から細かい手の動きを確認することができます。



※2 「IAUDアワード2014」（一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会）で銀賞を受賞しました。  
※3 手話アプリとして初めて公益社団法人東京都聴覚障害者総合支援機構東京都聴覚障害者連盟から推薦を受けています。

## Q | アリババ上場の影響は？

A | アリババのニューヨーク証券取引所への上場後、当社は同社株に関して大きな含み益を認識することとなりました。11月17日現在、含み益は約10.6兆円となっています。当社ウェブサイトでは、アリババなど当社が保有する株式株価情報について、毎日更新しています。

ソフトバンク保有株式株価情報 [検索](#)

The screenshot shows the 'Enterprise & IR' section of the SoftBank website. It includes navigation tabs for News, Group Information, Financial Information, CSR, and Employment. Below is a section for 'Stock Holdings' with a table of data as of November 17, 2014, at 16:04 JST. The table lists the company name, total shares held, shares held by SoftBank, and the unrealized gain.

銘柄	時価総額	当社保有時価総額	含み損益
Sprint	22,573	18,045	(547)
Alibaba Group Holding	326,260	106,305	105,929
Renren	1,277	493	74

## マルセロ・クラウレ氏を新CEOに迎え入れ、 さまざまな経営改革を強力に推進

2013年7月にスプリントの買収を完了してから1年が経過しました。同社はこれまで「Network Vision」ネットワーク ビジョンを掲げ、通話品質と通信速度の向上に取り組んできましたが、2014年6月にほぼ完了し、ネットワーク改善の取り組みは次の段階へ進んでいます。

また、同社は競合他社との厳しい顧客獲得競争が続く中、競争力の強化と業績改善に向けた取り組みを進めています。



### 経営改革に着手

スプリントが厳しい競争の中で顧客を獲得し、業績を伸ばしていくためには、ネットワークの改善だけでなく、料金がリーズナブルで、顧客満足度の高い魅力的なサービスを提供する必要があります。これらを強力に推進するため、同社では2014年8月にマルセロ・クラウレ氏がCEOに就任しました。同氏は、ソフトバンクの子会社であるブライトスターの創業者であり、同

社を世界最大の携帯端末卸売会社に育て上げた実績を持つ経営者です。今後同氏は、「顧客に価値あるモバイルサービスの提供」をテーマに、「顧客獲得の強化」「ネットワークの改善」「コスト削減」を柱に、スプリントの経営改革に取り組んでいきます。





## わかりやすく魅力的な料金プランへ

スプリントはマルセロ・クラウレCEOの就任後、複雑でわかりにくかった家族向け料金プランの見直しを行いました。新しい家族向け料金プランは、割安な料金でデータ通信量が競合他社の2倍利用できます。このほか、リース契約による携帯端末の提供も始めました。これらの取り組みにより、2014年9月において他社からの顧客の流入※が増加しました。



## 新たな技術責任者のもと、ネットワーク改善の取り組みを強化

スプリントは、2014年11月に Technical Chief Operating Officer という役職を新設し、宮川 潤一氏が就任しました。宮川氏はこれまで、ソフトバンクのCTOとして、当社のネットワーク改善の陣頭指揮を執ってきましたが、今後はスプリントのネットワーク改善を牽引していくこととなりました。ネットワークの構築や運用、コスト削減などさまざまな知見を有する宮川氏の就任により、スプリントのネットワーク改善を強力に推進していきます。

## コスト削減の取り組み

スプリントは、コストについて全面的な見直しを行っており、2014年対比で年間15億米ドル(約1,700億円)規模となる費用削減を行う予定です。この取り組みにおいては、2,000人規模の人員削減による費用削減効果も含まれています。

※ ポストペイド(料金後払)方式の顧客のLNP(Local Number Portability)において。LNPIは日本におけるMNP (Mobile Number Portability)と同様の制度。

## スナップディールとオラへの投資を通じて 成長が期待されるインド市場に参入

当社は、2014年10月にインド最大級のイーコマースサイトを運営するスナップディールと、同国における最先端のタクシー配車プラットフォーム事業者であるオラへ子会社を通じて出資することに合意しました。当社は両社の筆頭株主となる予定です。国連の人口推計によれば13億人の人口を有するインドは、25歳未満人口比率が高いほか、英語を話す人の数が米国に次い

で多い<sup>※1</sup>という特長を有しています。また、インドは、ソフトウェア開発者数が2018年には世界最大<sup>※2</sup>になることが見込まれています。これらのことから、2050年には中国とともに世界の二大経済圏に発展すると予想<sup>※3</sup>されています。当社は、今後の成長が期待されるインドのインターネット分野へ戦略的投資を増やし、世界最大のインターネットグループを目指します。

※1 出所:米国:Language Use in the United States\_2007\_acs-12、インド:The Time of India (2010年3月)

※2 米国コンピューターワールド誌 (2013年7月) ※3 City group発行“Global Growth Generators” (2011年2月)

### スナップディール

2010年に設立。同社が運営するイーコマースサイト「snapdeal.com」の登録ユーザー数は2,500万人以上、加盟店数は5万店以上。

### オラ

2011年に設立。インドにおける最先端のタクシー配車プラットフォーム事業者として事業を拡大。現在インド国内主要19都市で3万3,000台以上の車両を配備。

# ホークス3年ぶりの日本一に!

熱きご声援をいただきありがとうございます。  
日本一を置き土産に退任した秋山前監督と、  
工藤新監督から株主の皆さまへのメッセージを  
お届けします。



## 秋山前監督からのメッセージ



2009年からチームを預かり、6年間にわたりホークスの指揮を執ってきましたが、今季限りで監督を退任することとなりました。孫オーナーにチャンピオンフラッグを手渡すことができ、ほっとしております。本年も福岡ソフトバンクホークスをご声援いただき誠にありがとうございました。来シーズンも変わらぬご声援を賜りますようお願いいたします。

## 工藤新監督からのメッセージ

福岡ソフトバンクホークス監督の工藤公康です。秋山前監督が6年間にわたり、多くの選手を育ててこられたホークスを受け継ぐこととなりました。日本一を連覇できるよう、チーム一丸となって頑張っていきたいと思います。皆さまの熱きご声援、引き続きよろしく願いいたします。

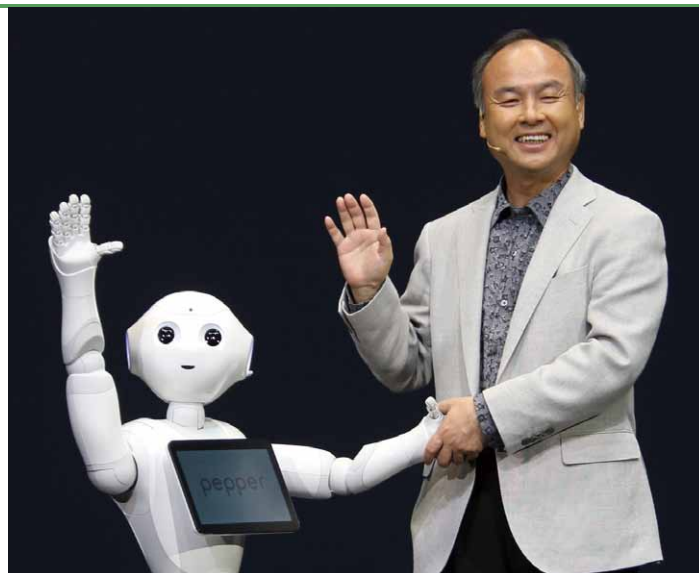


左から後藤球団社長、工藤新監督、王球団会長

# 世界初の感情認識 パーソナルロボット 「Pepper」を 2015年に一般発売

当社は2014年6月、世界初となる感情認識パーソナルロボット「Pepper」を発表し、ロボット事業に参入しました。当社は2010年に発表した「新30年ビジョン」において、今後人々の生活を豊かにするためにロボットが重要になると考え、将来的にはロボットと共存する社会を実現したいと表明しました。その後当社は、2012年に人型ロボット工学の世界的な先駆者である仏アルデバラン社※1に出資し、同社と共同でPepperの開発を進めてきました。

Pepperは、周囲の状況を把握して自律的に判断し行動します。また、人や障害物をセンサーで検知し衝突の危険性を減らすように



お披露目の記者会見で孫社長と（2014年6月）

動きを制御したり、誰かに押されても倒れないように自分でバランスを保とうとする機能が備わっています。このほか、最新の音声認識技術や滑らかな動きを実現する優れた関節技術、人の表情と声のトーンを分析して人の感情を推定する感情認識機能が搭載されているほか、Pepper自身が日々のコミュニケーションを通じて学習し、成長していく機能も搭載される予定です。

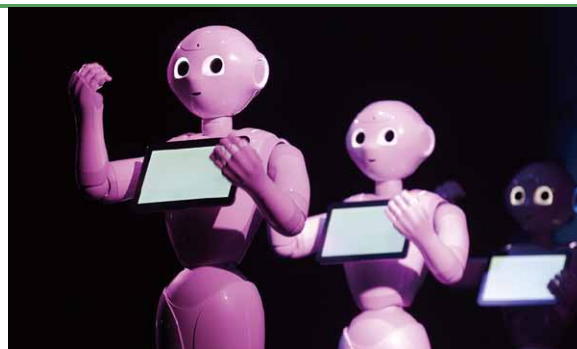
※1 ALDEBARAN Robotics SAS

## 2015年2月の一般発売に向け アプリ開発体制を支援

Pepperは、2015年2月に本体価格198,000円※2で一般向けに発売する予定です。それに先立ち2014年9月に、アプリケーション開発者向けのイベント (Pepper Tech Festival 2014) を開催しました。このイベントには約1,000名が参加し、基調講演のほかにもクリエイターによるPepperを使ったショーなどもあり、大いに盛り上がりました。

※2 表示価格は税抜。別途、Pepperとの生活に必要なオプションサービスを用意する予定。

※3 動きや会話、センサーなど、Pepperの各機能を組み合わせた動作プログラムの総称。



Pepper Tech Festival 2014の様子

当社はPepperの発売に当たり、誰でも自由に「ロボアプリ※3」が開発できるよう、ソフトウェア開発キットを公開しました。ロボアプリは、今後「アプリストア」(仮称)を通じて提供できるようになる予定です。



## ソフトバンクショップで 待ってるヨ!

Pepperは、全国75店舗※4のソフトバンクショップで店員として働いています。ダンスをしたり早口言葉を言ったり、皆さまを精一杯おもてなしします。見かけたら、ぜひ声をかけてみてください。

※4 2014年11月7日現在。



Pepperのいるお店 (2014年11月7日現在)

詳しくはホームページへ

Pepper

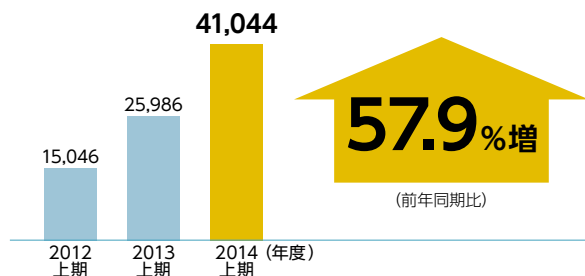
検索

## 連結業績 ハイライト

前期中に子会社化したスプリント、ブライトスター、スーパーセルの業績が通期で寄与し、2014年度上期も業績が大きく拡大しました。

### ■売上高

(単位：億円)

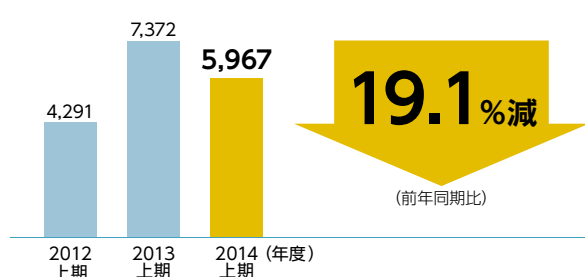


### スプリント事業と移動通信事業の 増収で過去最高★を更新

売上高は4兆1,044億円となり、前年同期から1兆5,058億円(57.9%)増加しました。スプリント事業<sup>\*1</sup>で1兆225億円増加したほか、ブライトスターとスーパーセルの新規連結<sup>\*2</sup>などにより移動通信事業の売上も5,069億円増加しました。

### ■営業利益

(単位：億円)

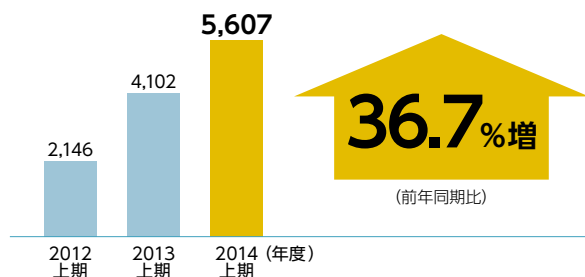


### 実質的な増益基調を継続

営業利益は5,967億円となり、前年同期から1,405億円(19.1%)減少しました。前年同期に2,539億円の一時益<sup>\*3</sup>を計上したため当上期は減益となりましたが、スプリントの利益改善と移動通信事業の増益により、実質的な増益基調を続けています。

### ■純利益 (親会社の所有者に帰属する純利益)

(単位：億円)

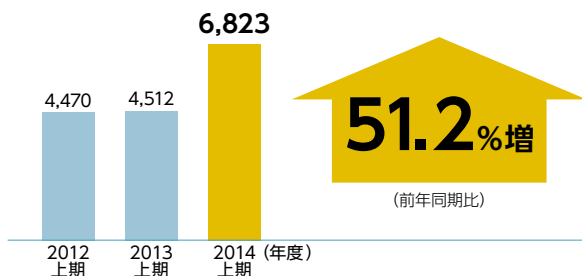


### アリババ上場などによる 持分変動利益計上で大幅に増加

純利益は5,607億円となり、前年同期から1,505億円(36.7%)増加しました。これは主に、2014年9月にアリババが上場したことなどに伴い、同社に係る持分変動利益5,993億円を計上したことによるものです。

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位：億円)

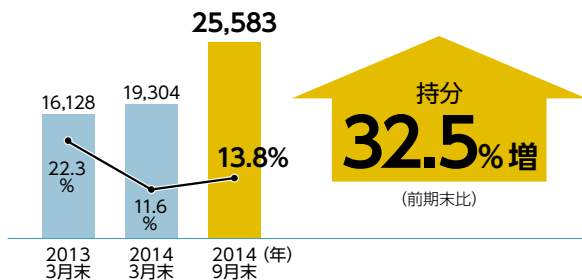


## 引き続き堅調に推移

営業活動によるキャッシュ・フローは6,823億円のプラス(前年同期は4,512億円のプラス)となりました。スプリントの業績改善と移動通信事業の増益などが、営業活動によるキャッシュ・フローの積み上げにつながりました。

## ■ 親会社の所有者に帰属する持分／持分比率

(単位：億円／%)



## 持分は6,278億円増加 持分比率は2.2ポイント改善

親会社の所有者に帰属する持分は2兆5,583億円となり、前期末から6,278億円(32.5%)増加しました。この結果、持分比率は13.8%となり、前期末から2.2ポイント増加しています。

### IFRIC第21号「賦課金」の適用について

当社は2014年度の第1四半期からIFRIC第21号「賦課金」を適用しています。これに伴い、2013年度の数値については、遡及修正を行っています。

★ 当社が連結決算を開始した1994年度以降。

※1 2013年度の第2四半期にスプリント事業を新設しました。なお前年同期は2013年7月11日～9月30日までの業績を反映しています。

※2 ブライトスターは2014年1月31日に、スーパーセルは2013年10月31日に子会社化したため、両社の業績は前年同期には含まれていません。

※3 企業結合に伴う再測定による利益。

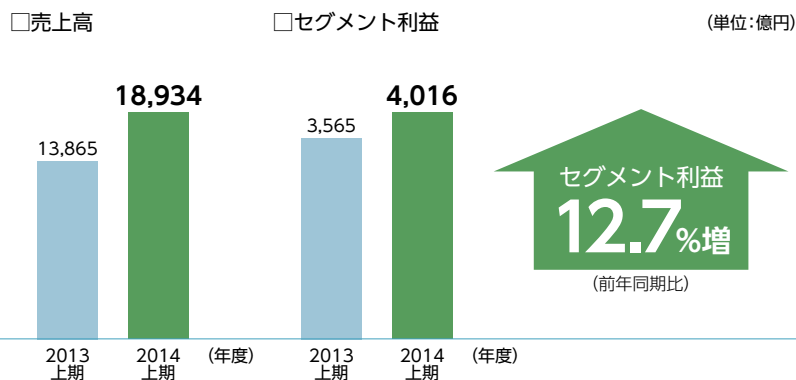
## セグメント別 営業概況

スプリント事業が黒字転換したほか、  
移動通信事業も増収増益となりました。



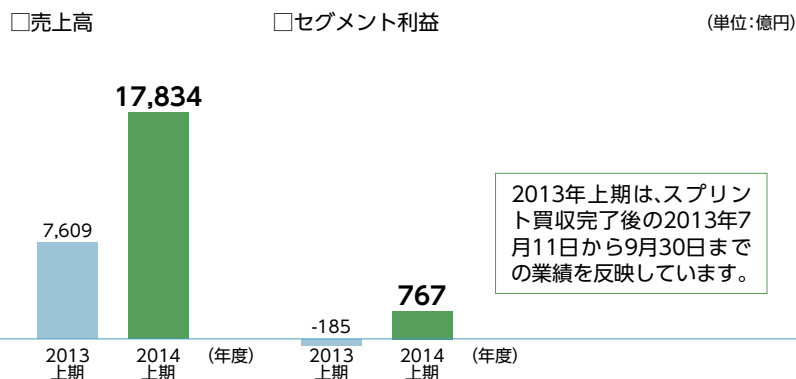
### 移動通信事業

ブライトスターとスーパーセルの子会社化により大幅増収、またスーパーセルの利益貢献とソフトバンクモバイルの利益拡大で増益に



### スプリント事業

スプリントの業績が通期で寄与したため大幅増収、不要となった旧式通信設備の償却負担がなくなるとともにネットワーク費用の減少により黒字化

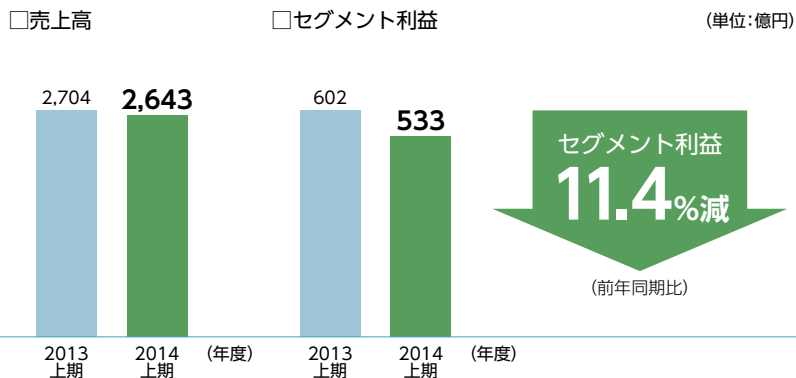






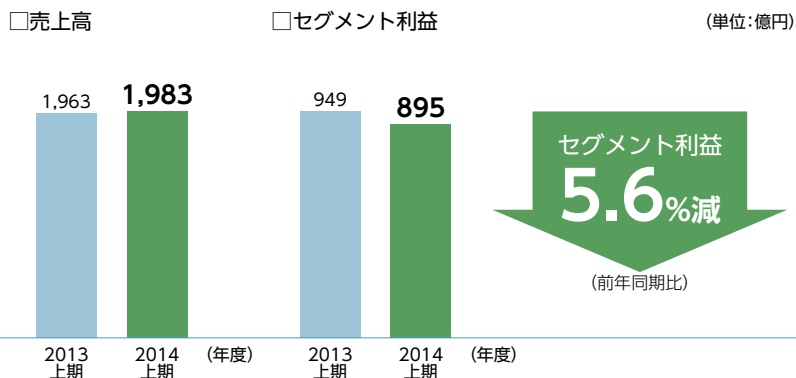
## 固定通信事業

ワイモバイルのADSLサービス売上の減少と、ソフトバンクテレコム<sup>株</sup>の法人向け通信サービスのネットワーク構築費用の増加により減収減益に



## インターネット事業

売上は微増となったものの、ヤフーの減価償却費とイーコマース事業の販売促進費の増加により減益に

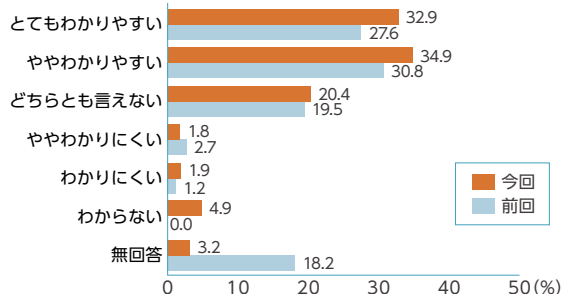


## 株主アンケート 結果ご報告

第34回定時株主総会終了後に郵送したアンケート結果の一部をご報告します。  
お忙しいところご回答いただき、誠にありがとうございました。

アンケート実施期間：2014年6月～8月 有効回答数：6,751件（回答率3.4%）

### Q. 株主総会招集ご通知の内容はわかりやすかったですでしょうか？

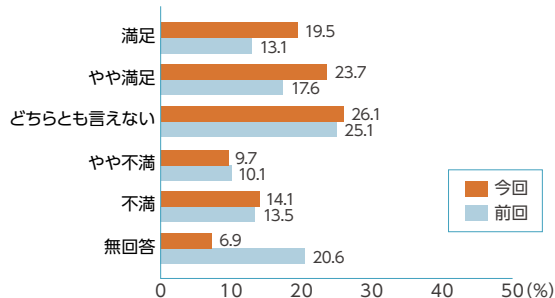


#### 【寄せられたご意見】

- グラフ、写真が多くわかりやすい(40代・男性)
- 読みやすく非常に好感が持てる(70歳以上・男性)

全体の3分の2の方が「わかりやすい」という評価でした。グラフや写真を使い、文字も大きく読みやすいというご意見を多く頂戴しました。今後も「読みやすさ」「わかりやすさ」を追求してまいります。

### Q. ソフトバンク携帯電話株主優待についてご意見をお聞かせください。



#### 【寄せられたご意見】

- 株主優待はこれからも続けてほしい(50代・女性)
- 優待よりも配当を増やしてほしい(60代・女性)

今回も「満足」「やや満足」の割合が増加しました。その一方で、「配当が少ない」とのご意見も頂戴しました。配当水準については、財務体質の健全性を保ちつつ、持続的成長に向けた積極的な投資と皆さまへの利益還元を両立させながらその都度決定していきます。

他にもさまざまなご意見をいただいています。

- ロボット事業の戦略についてもっと詳しく知りたい(50代・男性)

経営理念「情報革命で人々を幸せに」の実現のため、ロボット事業に参入しました。

詳しくはP.10へ

- 海外の事業状況をもっと詳しく教えてほしい。(30代・男性)

将来は中国に次ぐ成長が期待できるインドへの投資を行っています。

詳しくはP.8へ

# 会社概要

(2014年9月末現在)

## ■ 社名 (商号)

ソフトバンク株式会社  
(英文社名) SoftBank Corp.

## ■ 設立年月日

1981 (昭和56) 年9月3日

## ■ 本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

## ■ 資本金

238,772百万円

## ■ 株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株  
発行済株式総数 1,200,660,365株

## ■ 株主数

218,012名

## ■ 事業内容

純粋持ち株会社

## ■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## ■ 取締役および監査役

### □ 代表取締役社長

孫 正義

### □ 代表取締役副社長

宮内 謙

### □ 取締役

後藤 芳光

藤原 和彦

ロナルド・フィッシャー Director and President, SoftBank Holdings Inc.

ユン・マー Executive Chairman, Alibaba Group Holding Limited

宮坂 学 ヤフー株式会社 代表取締役社長

柳井 正 (社外取締役) 株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

マーク・シュワルツ (社外取締役) Vice Chairman, The Goldman Sachs Group, Inc.  
Chairman, Goldman Sachs Asia Pacific

永守 重信 (社外取締役) 日本電産株式会社 代表取締役会長兼社長 最高経営責任者  
(2014年10月1日現在)

### □ 常勤監査役

佐野 光生 公認会計士

### □ 監査役

宇野 総一郎 (社外監査役) 弁護士

柴山 高一 (社外監査役) 公認会計士・税理士

窪川 秀一 (社外監査役) 公認会計士・税理士

株価の推移 (2009年10月1日～2014年9月30日)



●本誌に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。

●本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

●本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

●本誌に掲載されているサービス内容および製品の仕様・性能・デザインは、予告なく変更する場合があります。

## 株主メモ

■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 期末配当金受領株主確定日	3月31日
■ 中間配当金受領株主確定日	9月30日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
■ 公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL: <a href="http://www.softbank.jp/">www.softbank.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

### ○住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社等に口座を  
お持ちの株主さま …… 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

特別口座をお持ちの  
株主さま …… 下記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

### ○未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三菱UFJ信託銀行本支店までお問い合わせください。

## 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: **0120-232-711** (通話料無料)  
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 (受付時間 土日祝祭日等を除く平日 9:00 ~ 17:00)

(注)旧株式会社アッカ・ネットワークス株式に係る特別口座管理機関へのお問い合わせ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 電話 0120-782-031 (通話料無料) (受付時間 土日祝祭日を除く平日 9:00 ~ 17:00)



ソフトバンクの  
「今」が分かる

冊子の内容についてのより詳しい情報は当社IRサイトでご覧いただけます。

[www.softbank.jp/corp/irinfo/](http://www.softbank.jp/corp/irinfo/)

ソフトバンクグループの情報をご登録いただいたメールアドレスに月3回お届けします。

[お申し込みはこちら www.softbank.jp/corp/news/magazine/](http://www.softbank.jp/corp/news/magazine/)

**免責事項** 本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

TEL: 03-6889-2000 E-mail: [sb@softbank.co.jp](mailto:sb@softbank.co.jp) [www.softbank.jp](http://www.softbank.jp)

